

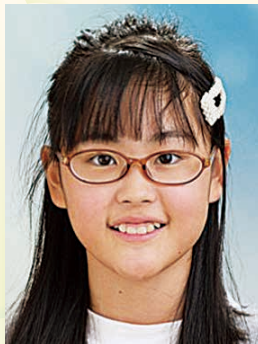
今年は子年



今年の干支は庚子^{えと かのえね}です。十二支の中では子は1番目に数えられ、もともとは「孳^し」といいました。孳は増えるという意味があり、植物で例えると発芽に向かって種子が膨らみ始める時期のことであり、すべての始まりと可能性のある未来に向かって進むことを表しています。

庚子は、相手を強める影響をもたらす「相生^{そうせい}」という関係です。勉学や仕事、恋愛、健康などそれぞれが相互に影響をもちあいます。なにかに行き詰ったときは、全く別の方向から活路を見いだせることもあるでしょう。子の年は、変化が生まれる状態、新たな生命が兆し始める状態なので、全く新しいことにチャレンジするのによい年といわれています。

私は今より、もっと優しい人になりたいです。私は何事にも、心が優しい人が社会にこうけんすることができると思っています。世の中の人みんなが優しい人だったら、世界は、素晴らしいものになると思っています。例えば、多くの人がオリンピックやパラリンピックなどの国際交流の時、いろいろな国の人や障がいのある人にも、優しく思いやりを持たれば、どんな活動も楽しく充



将来の私

中之島小学校 6年

田中実桜さん

実したものになると思います。私は学校生活で、心が傷ついてしまった友達を何度か見てきました。私もそんなつもりはなかったのですが、言葉や態度で友達を傷つけてしまったり、友達の何気ない言葉によって自分が傷ついたりしたことがあります。私は傷つく人がいなくなるためにも、優しい人がもっと増えればいいと思っています。残りの小学校生活は、3か月くらいになりました。中学校に行ったら、「優しい人になる」というめあてに向かって、たくさん友達をつくり、友達を大切にしていきたいです。勉強もがんばり、充実した中学校生活を送りたいです。



夢はラーメン屋

五十沢小学校 5年

桑原新太さん

僕の家はラーメン屋をしています。店の名前は「一品楼^{いっぴんろう}」で、地域でもちよっと名の知れたお店です。僕の夢はラーメンの店を持つことです。でも、今までは店を継ごうか迷っていました。おじいちゃんの「ラーメンを食べたお客さんが、うまいって言うってくれるのがうれしいんだよな」という言葉を聞いて決心しました。休みの日は、割りばしを店名入りの袋に入れたり、皿や丼を洗ったりする手伝いをしています。家の人から「助かるよ」と喜んでもらえます。ある時厨房^{ちゅうぼう}をのぞい

たら、おじいちゃんが鍋をふってチャーハンを作っていました。材料がバツと跳ね上がるのを見て「かっこいい！僕もあんな風に作ってみたい」と思いました。だから、これからも手伝いをしながら「料理のコツ」を少しずつ覚えたいです。でも、ラーメン作りの修行だけでは店を出すのは難しいことを知りました。いろいろなことを知っていないと、工夫ができないからです。だから、いつもの勉強もすっかりやって、高校や大学でも勉強をして、「頭のいいラーメン屋」をめざそうと思います。僕は東京に店を出し、五十沢のラーメンの味をもっといろんな人たちに食べてもらおうと思います。そして「うまい」と言わせたいです。その時には家族のみんなにも食べてほしいと思います。そして、いつかその店を継いだ、僕の子どもが作る「一品楼」の味を味わってみたいですよ。